

松本地域シルバー人材センター 会員アンケート集計

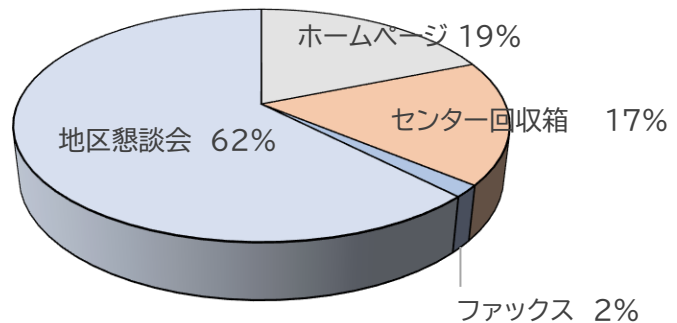
総務部会では、シルバー事業の魅力を見直し、新規会員の入会促進やセンターの魅力・イメージ向上に役立てるため、会員にアンケートを実施しました。

アンケート結果は次のとおりとなりました。

○ アンケート回答数 483件／1566会員 回答率 30.8%

○ アンケート回答方法

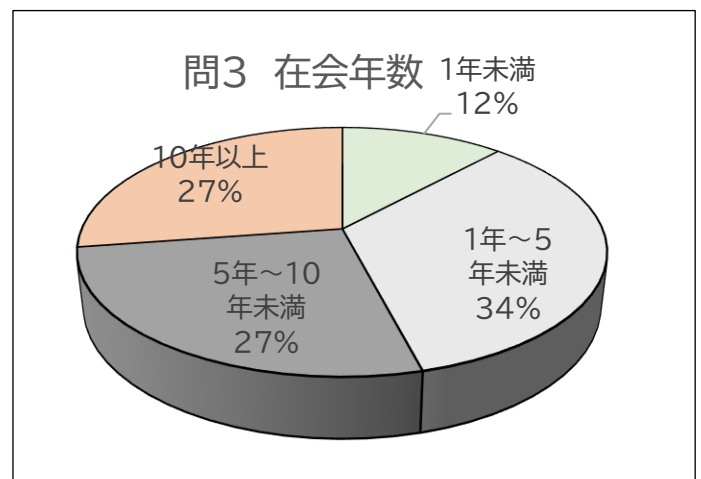
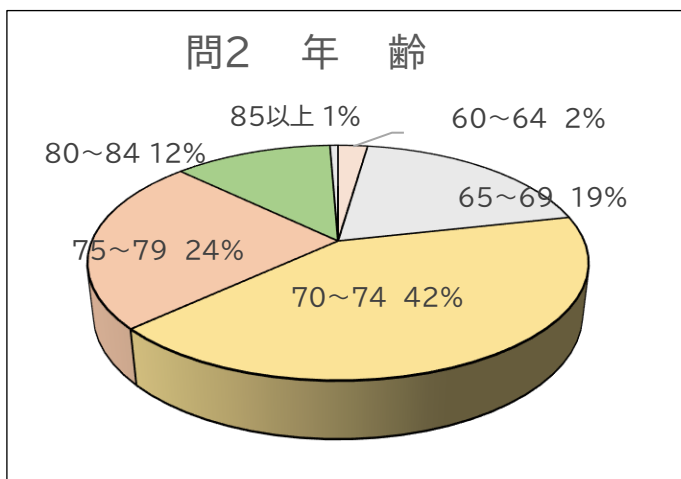
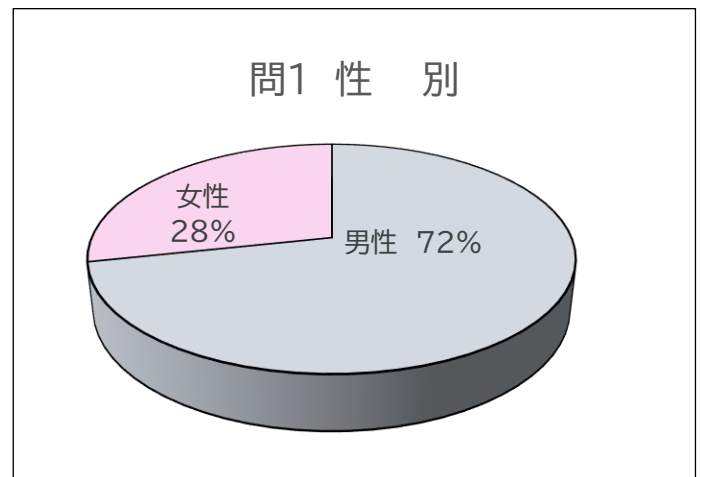
ホームページから	91	19%
センター回収箱	83	17%
ファックス	8	2%
地区懇談会	301	62%
計	483	



○ 回答者の属性

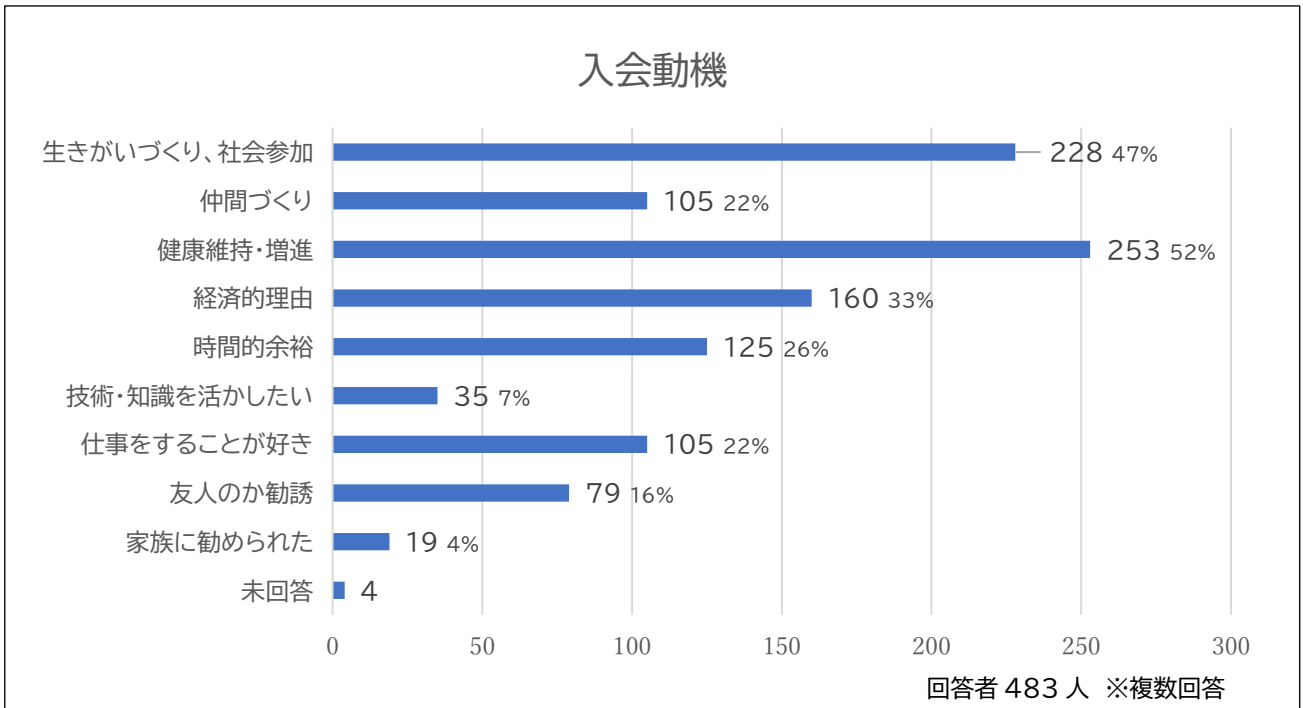
回答率は約3割、地区懇談会が書面開催や、受付での資料配布のみとした地区があったことから、懇談会でのアンケート回収が低調だったことが原因となった。

回答者の属性(性別・年齢・在会年数)は、全会員の平均(男性・68%、女性 32%)、(平均年齢 73.4 歳)、(平均在会年数 7.3 年)とほぼ同様の傾向であり、幅広い会員から回答があった結果となった。



問 4 入会動機

回答者の約半数が「生きがいがづくり・社会参加」、「健康維持」を入会動機としており、高齢期における適度な就労による心身の健康を求めているものと推測される。一方、「経済的理由」とする会員も3割いることから、適切な就労環境を提供することが求められている。

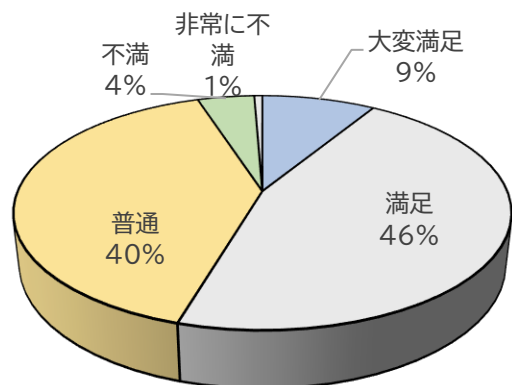


※生きがいがづくり、社会参加を動機とした会員の79%が、シルバーの魅力、入会して良かったこととして「仕事にやりがい」「仲間ができる」「ボランティアなど社会貢献」「仕事先から喜ばれる」のいずれかを選択し回答しており、ある程度、入会の目的を果たしている。

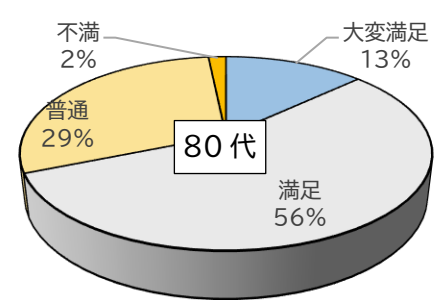
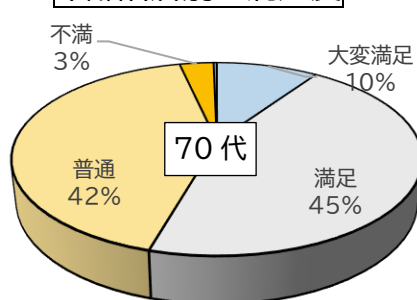
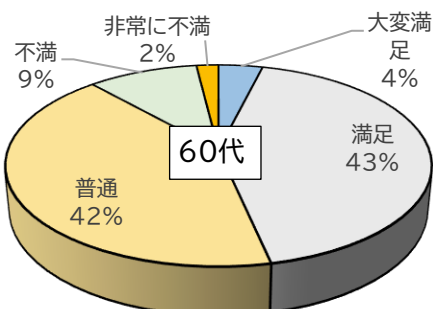
※健康維持・増進を動機とした会員の79%が、入会して良かったこととして「健康維持につながる」と回答。

問 5 入会(就労)満足度

大変満足	42	9%
満足	219	46%
普通	193	40%
不満	21	4%
非常に不満	3	1%



年齢階層別の満足度

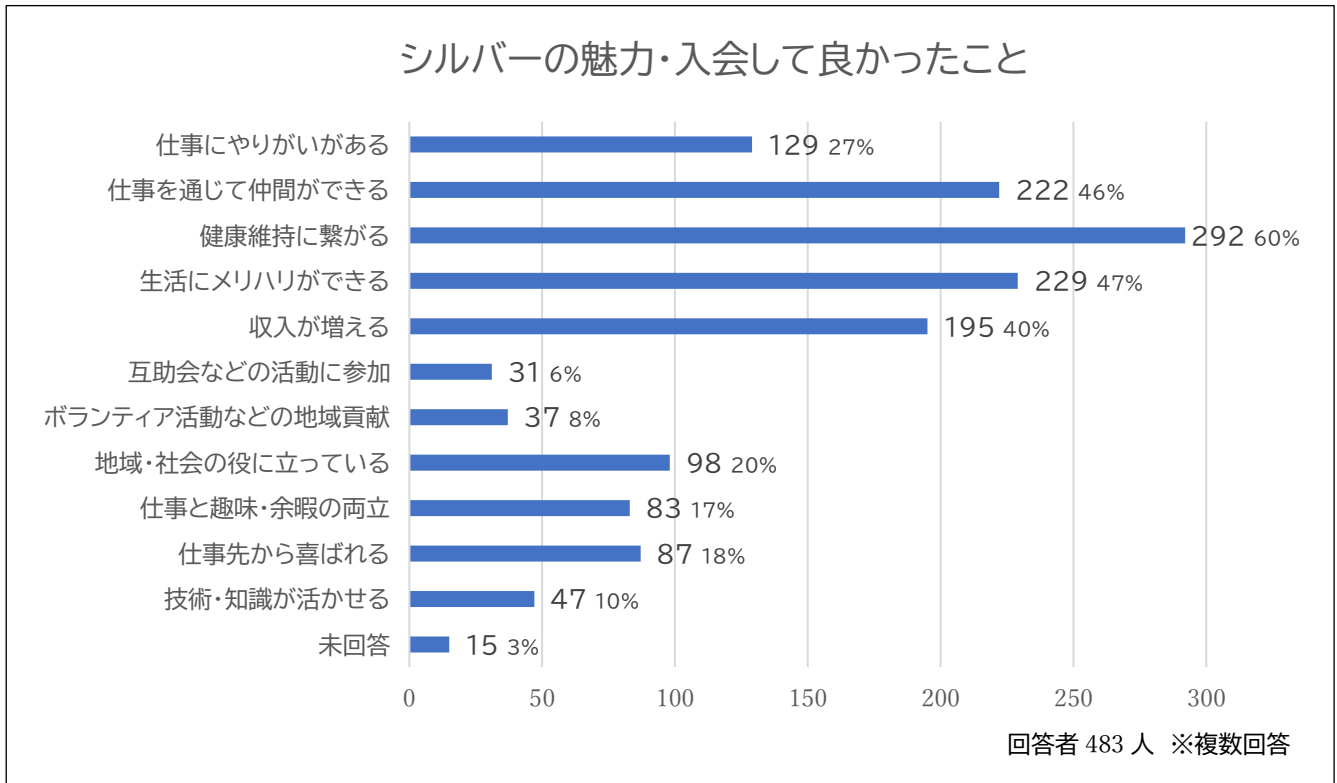


※年齢、在会年数が長いほど満足度は高くなっているが、60代では「希望する仕事が無い」「仕事で嫌な思いをした」「仕事の単価が安い」などが満足度を下げる要因となっている。

問 6 シルバーの魅力・入会して良かったこと

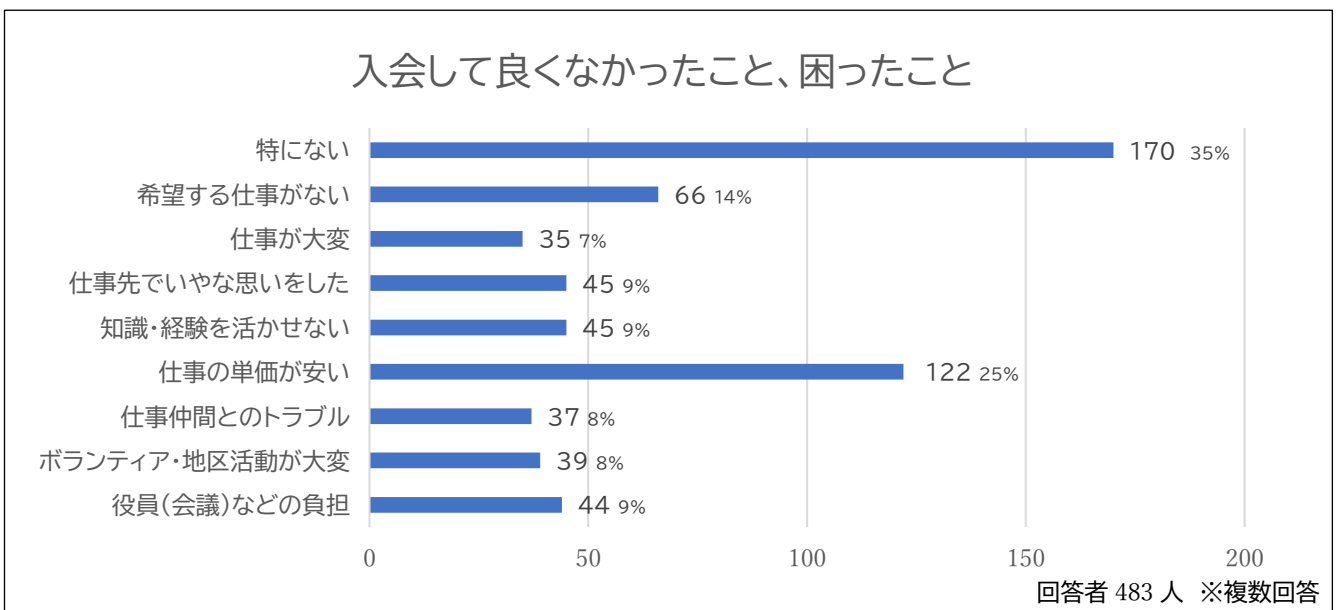
回答者の6割が「健康維持に繋がる」回答しており、5割弱が「生活にメリハリができる」「仲間ができる」と回答しているなど、会員の日常生活に好影響となっていることがうかがえる。

一方、「仕事にやりがいがある」は28%、「技術・知識を活かせる」は10%にとどまり、就労面での満足度が低くなっている。また、「ボランティア活動などの社会貢献」「互助会活動参加」などが低い数値となっており、就労外の活動への参加が低調となっている。



問 7 シルバーに入会して良くなかったこと、困ったこと

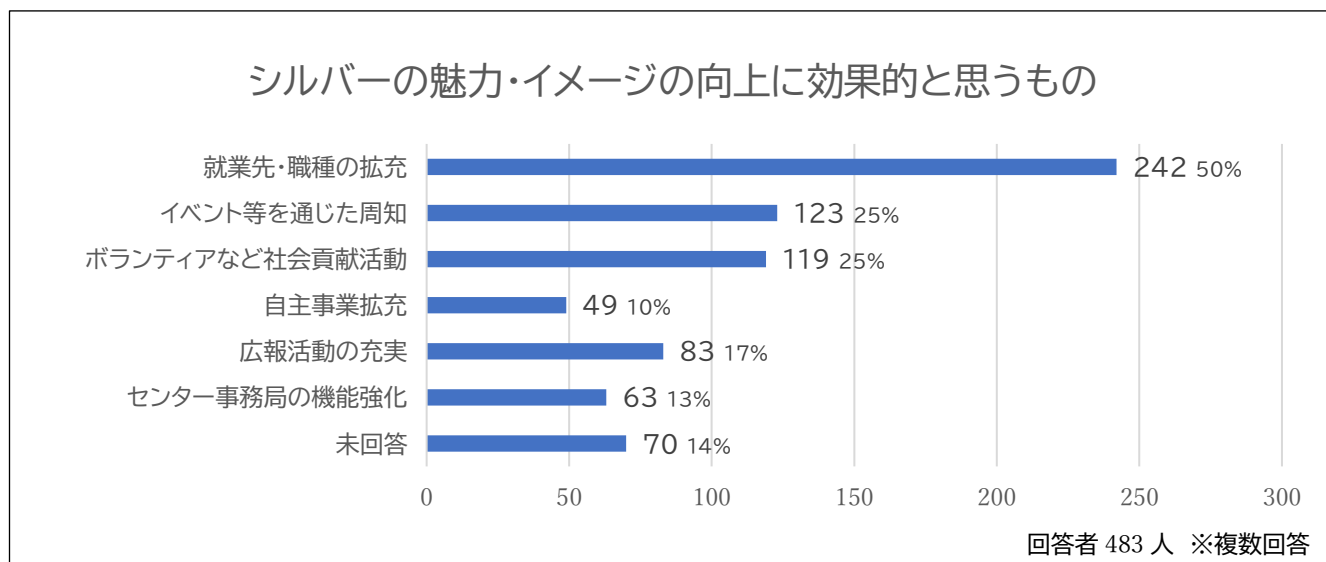
「仕事の単価が安い」「希望する仕事が無い」が良くなかったこと、困ったことの上位となっている。特にない(本項目への未記入者含む)は35%であったが、逆に65%の会員は何らかの不満や困りごとを抱えていると推測される。



問 8 シルバーの魅力・イメージの向上に効果的と思うもの

半数の会員が「就業先の・職種の拡充」を選択しており、まずは会員の就業環境の向上を図ることがシルバーの魅力向上のために最重要となっている。

また、「ボランティアなど社会貢献」「イベント等を通じた周知」も25%の会員が効果的と考えており、新型コロナの影響で停滞しているこれらの対外的な活動を再開し、シルバーの魅力を発信していくことが課題となる。

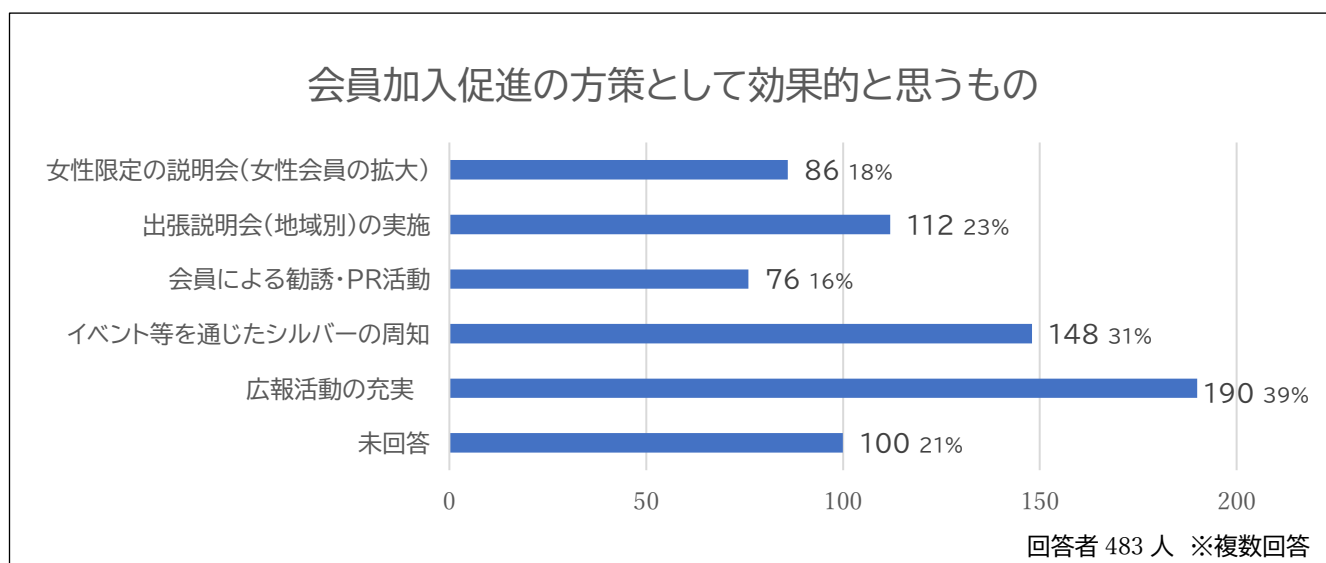


問 9 会員加入促進の方策として効果的と思うもの

「広報活動の充実」、「イベント等を通じたシルバーの周知」が上位となっており、効果的な広報手段、イベントについて検討をしていく必要がある。なお、シルバーまつりは、規模縮小・会員負担軽減の方向性であり、会員加入促進に効果的なイベントは今後の課題となる。

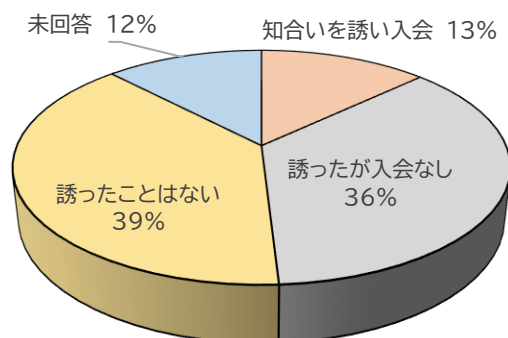
「女性限定説明会」、「出張説明会」が効果的とする会員も一定数おり、検討していく必要がある。

なお、本設問への未回答者が2割となっていることは、会員加入促進への会員の関心が薄いこと、あるいは、効果的な加入促進方法を選択できなかった結果とも推察される。



問10 会員による会員募集活動(ひとり1 会員募集活動)について

知合いを誘い入会あり	63	237
誘ったが入会なし	174	
誘ったことはない	187	246
未回答	59	



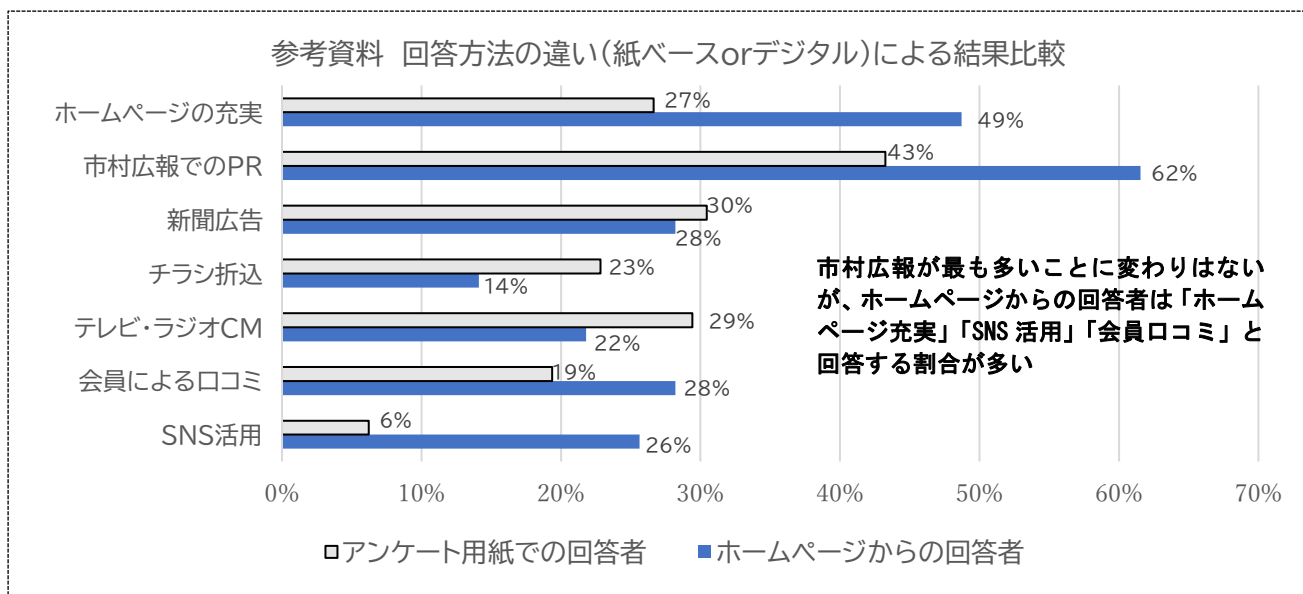
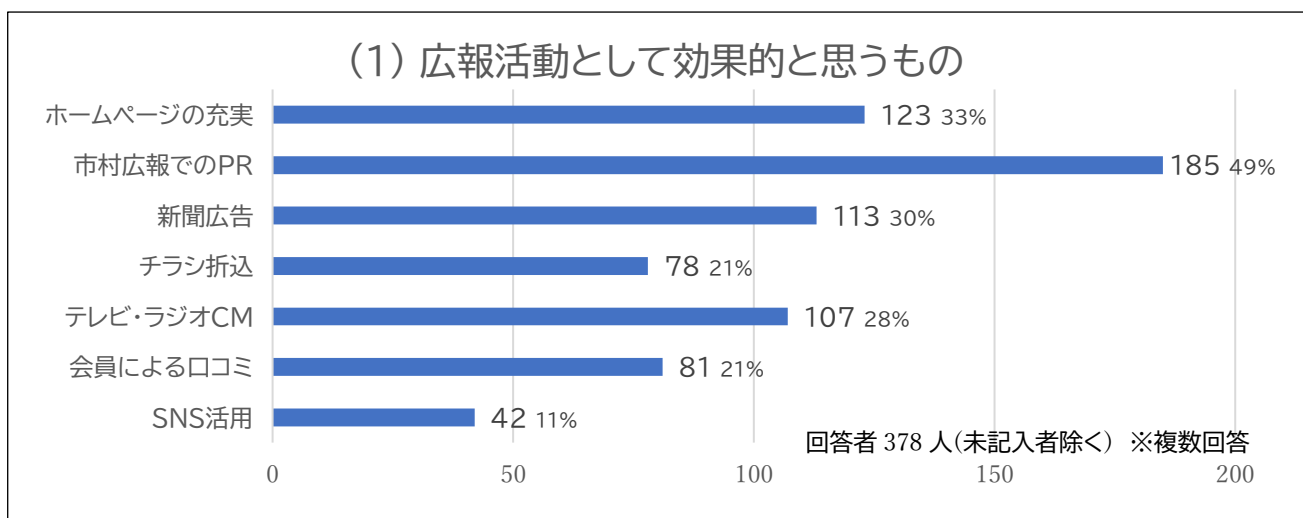
会員による会員募集は、約半数の会員が誘ったことがあるという結果となった。

誘った結果、入会に結びつく割合は27%(63/237)と一定割合あることから、会員による勧誘は入会促進に効果的と考えられる。

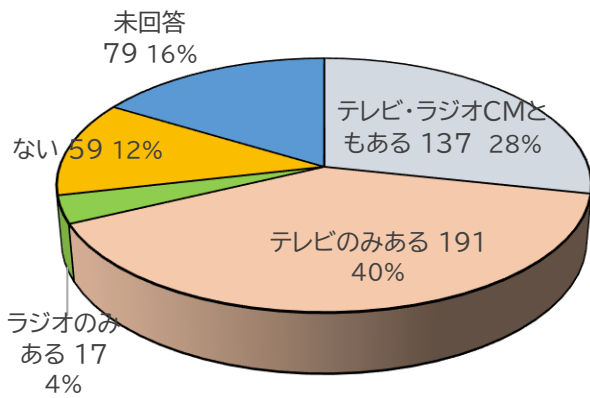
問11 広報活動について

広報活動については、市村広報でのPRが最も効果的との回答だった。会員の年齢層はある程度、市村広報を閲覧していることが想定されるが、掲載は無料の反面、紙面の都合から十分な掲載スペースを確保できない現状がある。

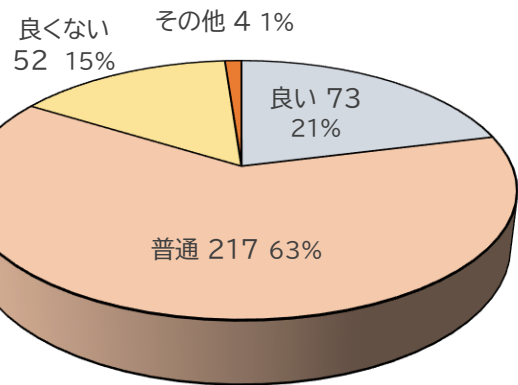
市村広報以外の広報媒体については「SNS活用」を除き、大きな差は無いが、会員のデジタル環境により考え方に大きな差があるため、参考資料として下表を示した



(2) テレビ・ラジオCMを見たり聞いたことはありますか



(3) テレビCMの印象

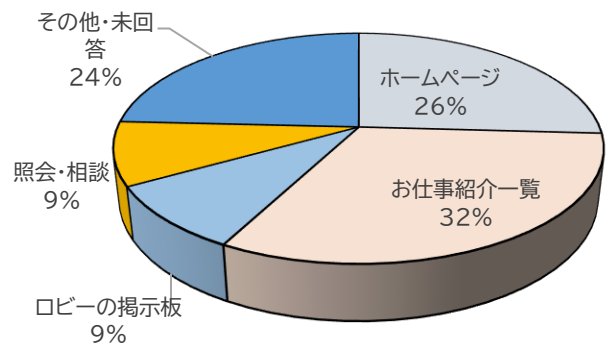


テレビCM(県シ連)については、約7割の会員が見たことがあると回答。その印象について良い・良くないは拮抗しているが、CMの印象として「もっと若々しいイメージを」といった意見が寄せられている。

以下 ICT 機器(パソコン・スマホ等)を活用した情報発信の推進に関連する質問

問 12 仕事情報の入手方法を教えてください

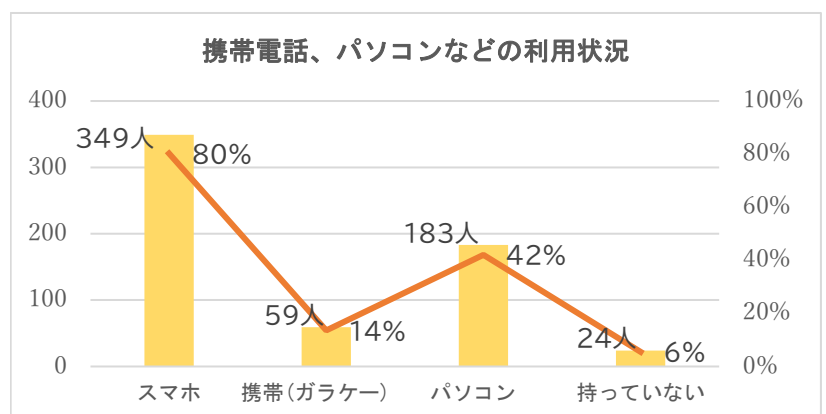
ホームページのお仕事情報	125	26%
年4回配布のお仕事紹介一覧	154	32%
センターロビーの掲示版	44	9%
センターへの照会・相談	43	9%
その他・未回答	117	24%
計	483	



仕事情報の入手は、年4回配布のお仕事紹介一覧が最も多く、ホームページからの情報入手を上回った。会員の就業マッチングをより促進するためには、LINE 登録によりスマホ画面から最新の就業情報を簡単に閲覧できることをアピールする必要がある。

問 13 携帯電話、パソコンなどの利用状況を教えてください

スマホ	349	80%
携帯(ガラケー)	59	14%
パソコン	183	42%
持っていない	24	6%
回答者数	435	



会員の8割がスマホを所有し、4割がパソコンを所有しているが、年齢層が上がるほど所有率は下がっている。

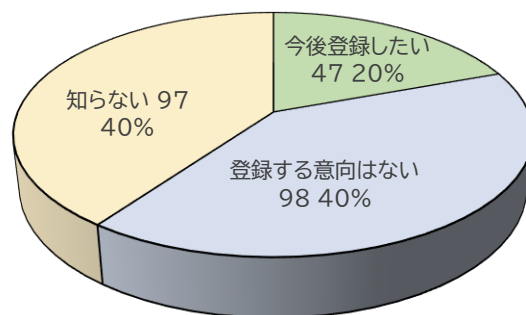
問 14 シルバー会員専用 LINE 公式アカウントをご存じですか

既に登録	158	40%
今後登録したい	47	12%
登録する意向はない	98	25%
知らない	97	24%
回答者数(未回答者除く)	400	

LINE の実登録者数は現在 292 名で実登録率は 18.6%(292/1566)

LINE 登録者以外の回答者の 8 割が、LINE への関心が薄いことから、今後の登録者数を増やすためには何らかの方策が必要と考えられる。

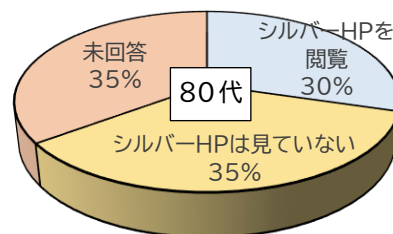
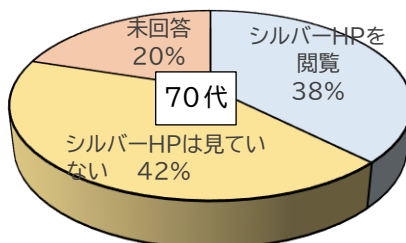
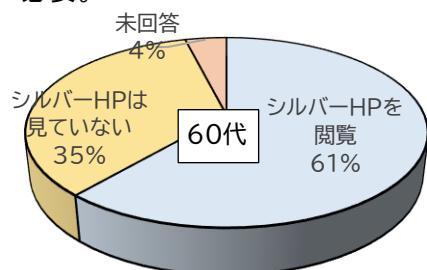
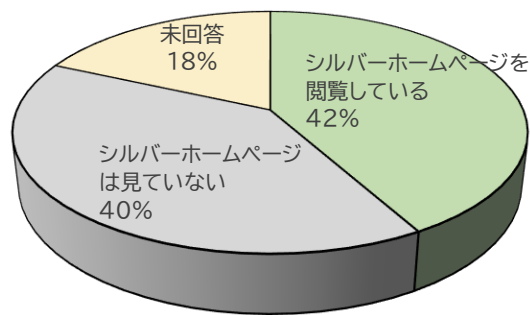
LINE未登録者の意向



問 15 パソコン(スマホ)の利用状況についてお伺いします

シルバーHP を閲覧	192	42%
シルバーHP は見ていない	183	40%
未回答	84	18%
回答者数 (除く・機器の不保持者)	459	

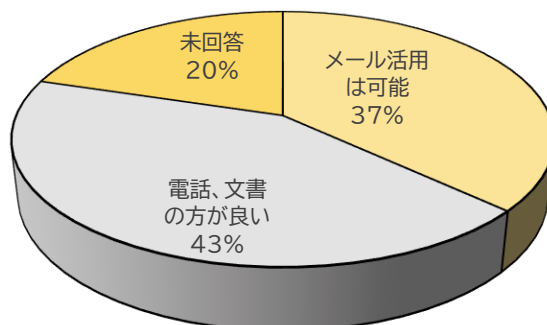
シルバーホームページの閲覧者は 5 割未満で、年齢が上がるほど閲覧率が下がる傾向。閲覧率向上に向けた取組みが必要。



問 16 メールでの仕事の依頼等についてお伺いします

メール活用は可能	178	37%
電話、文書の方が良い	207	43%
未回答	98	20%
	483	

メール活用が可能な会員は一定数いるが、パソコンの所有率が低い状況では、書類のやり取り等は困難。現状では保有率の高いスマホを活用した通知・お知らせの拡充が考えられる。



その他自由記述(主なもの・要約)

入会動機
移住してきたので、街の状況を知ることができればよいと思った
社会貢献 / 人の役に立ちたい
技術を身につけたいから / 技術を吸収したい
野菜を販売したいから
まだ何かできるかな?と思ったから
シルバーの魅力・入会して良かったこと
地域の実情を知ることができた
仕事に励んで、元気に働くことは健康にいいことだと思う
夫婦で助け合って仕事が出来て良い。(二人で一人前)
シルバーに入会して良くなかったこと、困ったこと
途中で休めない / やや多忙すぎる / 土日出勤あり趣味との両立ができない場合がある。
ようやく慣れてはきたが、女子トイレの清掃は心理的に負担 / 除草作業は大変で、いやがる会員が多い
パワハラ / 人間関係に疲れる / 指導者が利己主義
班の後継者がいない
定款に基づく活動をしているか甚だ疑問
仕事先から示された業務委託仕様書がセンター事務局から示されていなかったため、業務内容。期間、時間があいまいで会員独自のローカルルールにより運営されてきた実感があった。
担当からの仕事依頼がない。
仕事日数が極端に減る
仕事道具を自前で準備するのにお金がかかる(剪定) / 道具類の出費が多すぎ
いろいろな係や活動があり、シルバーの仕事との両立が大変
シルバーの仕事時間に縛られ、好きなことが制約された。
えがおに出品しているが遠い
シルバーの魅力・イメージの向上に効果的と思うもの
時給アップ。定年延長で高齢者の就業率が上がっている中で時給は就業選択の大きな要素。 / 仕事の単価を上げる
会員の特技をいかした仕事 / 誠実・丁寧な業務遂行
依頼主が喜ぶよう心掛ける / 技術の向上・クレームが無いこと
若者とコラボした活動を実践し、若者や地域住民にシルバー事業の理解をしていただく。
会員の経験談の紹介
担当職員は定期的に現場に出向くことが必要。アンケートも必要と思われるが、やっぱり現場を見る、話を聞く、直接肌で感じ取る。現メンバーが楽しく仕事できればそれがPR

互助会に各種クラブ活動を立ち上げる(例:ラージボール卓球、歎異抄を読む)
会員加入促進の方策として効果的と思うもの
シルバーの意義周知、多様な業務の確保、単価改善
イメージを良くすること・悪い様子を聞く
今までに培った技術や知識を活かせる場となることを PR した方が良い。(それには、会員がどんな知識・技術を持っているか入会時に詳細に記入してもらうことも一つの方策)
これ以上の(テレビ CM)方法はない
職安や企業へのチラシ等の情報提供(退職者向け) / ハローワーク等での説明会
テレビ CM の印象
ステレオタイプ
今の CM は何歳を対象に流しているのか? 40~50 歳を対象にしないとこれからは会員が増えてこないと思う。先行投資が必要では。そのためにももっとスマートな CM が必要と思う。 / もっと若々しいイメージを 楽な仕事というイメージが強い CM / 遊びで仕事をするように見える
仕事情報の入手方法
センター職員からの照会・依頼 / 職員からの声掛け
お客様からの紹介
センターからの依頼でパンク状態
除草班に属している / 班長からの誘い(紹介) / 他の会員の方からの誘い
知らない。分からない人には適当ではなく教えてほしい。
シルバーの魅力・イメージの向上、会員加入促進に関する、ご意見・ご提言
仕事の内容を詳しく、また仕事の種類が多く、また誰でもできる簡単な仕事があれば加入する方もふえるかも知れない
もっと職歴や経歴を活かせる仕事を探して提案してもらいたい。片寄った仕事ばかりではシルバーの魅力が活かせない。働く魅力を提案してもらいたい。
シルバーと聞くと年配者というイメージなのでイメージ改善に取り組んで欲しい。パワーも元気もあるシルバー人を世間に伝えるべきです。
シルバー会員には、IT・経理など専門的な技術・知識を持っている方が多いと思います。企業や行政などへの依頼の際にはこのような仕事も可能であることをもっと積極的にアピールした方がよいと思います。(今は、ほとんどが補助的な仕事を受けていることが多いと思うため)
シルバー＝清掃(特に女性)のイメージが強く、実際仕事も多いと思う。 家事援助(料理も)の仕事が増えると良いと思います
企業への退職者の入会促進をはかる。
50. 60代の仕事をしている人へシルバーの仕事の良さを紹介する
友人や知人に何となく楽しさを口コミで話して、これからの人にやんわりとアピールすることが良いと思う。そして本人が楽しそうに仕事をする事です
高齢者でも社会にフィードバックできることを示す
70 歳定年制が進められており、60-70 歳くらいの入会が今後困難になると考えられます。高齢者でもできる仕事を探すことが必要になると考えられます。何か対策を考える必要があると思います。

年齢制限(例えば 72 歳)のある仕事もあるが、もう少し延ばしても(75 歳まで)良いと思う。
超高齢化社会に向け、就業先の拡大・確保に尽力をお願いします。
年金受給年齢が上がり、定年後も再任用で働き続ける人が多くなっている。したがってシルバーの仕事で年齢制限のある場合、この年齢を上げてもらい、体力・健康状態で判断してもらおうと良い。
町会の役員会、総会で加入促進について 20 分くらい話をして、会員が入会したらうれしいです。町会にもまだまだ健康な方がたくさんいます。
年齢制限の引き上げ。健康であればお仕事紹介の年齢を引き上げてよいと思う。
仕事の魅力をアピールすることが大切
常時、就業先相談窓口を設置し、休職来訪者対応をしてもらい、会員の就業したい気持ちに応えることが信頼に繋がり、この実績を広報・PR することが魅力となると思う
社会情勢、会員の年代層、ネットワーク環境などの変化に応じて、的確に、柔軟に対処していけばよい
シルバー人材センターは少子高齢化の影響をまともに受ける職場だと思います。その事務方は経営感覚を身に付けることが必要では、理事長以下変わらなければ益々低迷するばかり。
理事会の充実を期待したい。理事の皆様は課題に積極的に取り組んで欲しい。また、会員を引っ張って行ってほしい。
地区担当者は会員の意見にもう少し耳を傾けて欲しい。
時代にあったシルバーの体制にならなければ、入会する人が増えないのではないかな。もっと開かれた会になるように望みます
仕事の紹介先を回って、順調に仕事を行っているか、困ったことは無いか、等々を確認することも必要だと思います。時々で良いです
職員の対応が非常に悪い。上から目線で不愉快である。退会を考えている。公務員目線で会員を重視していない
仕事面で人が不足した時など、もっと現場を理解し、把握し、早急に対処してほしい。担当者よって差がありすぎ。こんな状況では「会員加入促進」誘う気持ちも薄れると思います。地区担当者の魅力の有る無しを会員はシビアに感じています
シルバー人材センターの基本理念を全ての会員が知るべき!! 人ごと、人任せの会員が多いと思う。従って「入会説明会と同様な資料を使った再教育を行うべきだ!!」つまりシルバー人材センターは我々のもの我々が育てるものである
現在のシルバーに必要なこと ①有償のボランティアシルバーであることを会員が再認識する ②丁寧な仕事を誠実に行い、地域に価値や必要性を認めてもらう ③地域内の良好な経済循環に寄与するよう、多様多様な隙間業務を探し出す
各地区に年齢を問わず趣味を展示したカフェ(小さくても)等を作ったらどうか? シルバー会員以外でも大勢の方が趣味をた くさんやっていますが、展示する所が無く交流になると思います。また、そこから入会希望者が生まれるかも...
高齢化社会を迎えるにあたり共助・共援(相互扶助)・奉仕活動(ボランティア)が強く望まれることと思います。会員の有志を集め男女共同参画で奉仕班を結成するのが一番でしょう。専門的に
会員を紹介した場合、その後の就業状況などのフィードバックが必要だと思う。 ひとり会員の表彰は 2 人でなく 1 人にしたらどうか
子どもを扱うのは疲れるが、子供はエネルギーであるので、子供との共生を考えた何かを考えたら面白いかもしれない
誘って入会した人は、自主的に入会したことにしたらいい。口コミは大切だが、誘っていやな気持ちになる報奨制度は無い方がよい

会員の加入促進をしたいがどんな人を入れたら良いか分からない
軽トラ等、道具のレンタル制度の確立(剪定)
時代遅れのシルバーのキャップ帽子の廃止。かっこいいスタイルのシンボルを作ること
その他意見
いつまでも夢を持ち続け、健康に留意し社会貢献を続けることで生きがいを感じています
やっと自分の必要性を感じるようになった
互助会作品展に参加しています。作品を皆さんに見てもらいやりがいがある。また、作品をシルバーショップで販売、手先を使っての作業で認知症にも予防効果がある
配分金明細書の届いた夜の晩酌がいつもより楽しい
加齢により就業できる機会も限定されるが、趣味として今後も続けたいと思う
人生100年ともいわれています。80歳以上でも就業することを考えています。(健康であればですが)
互助会のイベント(シルバーまつり、歩く会等)は楽しく会員として利用させていただきました。ありがとうございます
同じ年代の人と話し合うことができる
シルバー会員として充実した活動ができています
シルバーがあることも知りませんでした。近所の方に偶然誘われ(話を聞いて)恐る恐るセンターを訪ねて仕事を紹介いただき現在に至っています。仕事に行くため家事を済ませてと、生活のメリハリができましたが、まだまだシルバーを知らない人が多いので加入促進に力を入れた方が良いと思います
18年間楽しい思い出ばかりです。皆様良い方ばかりでした。体が元気で働くことができました。一生の思い出です
体を使う仕事をして大変健康になったので、年齢ではなく心と体のバランスが大切かと思えます
今まで積み重ねてきた己の技術、得意な分野は誰にもあるので、各自の仕事の目的は違っても、なるべく入会時の際の聞き取りや要望に沿って依頼等できれば悩まず楽しく依頼に応えられそうな気がします
人は人かと思いますが、どんな仕事をどのようにされているのか他の方のお話も聞いてみたいです。先日、草刈りを行ったとき少しお話をした方がおり、少し気持ちが楽になりました。皆さん各々の悩みもあるようで自分だけじゃないと思うだけで力が出ました
公共の仕事は健康であれば年数しばりをやめて欲しい。長く仕事がしたい
年齢制限の仕事が多くなり、出来る仕事の案内が少なくなった。残念に思います
賃金単価を県の最低賃金単価以上にすべき
夏の草むしりはたいへんです。単価を考えていただきたい
高齢者にハードな仕事をさせない(バス清掃、夜9時まで、労災?)
仕事の単価の見直し ・10年先を見て作業班の確保 ・仕事をする会員を増やしてほしい
担当する仕事は時間外施設管理業務です。施設の利用者にはパソコンを使って施設の紹介や料金等の詳細を説明して借りる手続きを行い施設利用料をいただく仕事で、やりがいのある仕事であり知識や関係者との連携、営業経験も必要であり、レベルの高い仕事なので賃金アップをお願いします
派遣で働いています。派遣先は1分単位のようなのですが、シルバーの派遣は15分単位と聞いていますので、何かをして時間をつぶすのも嫌で、57分かでもタイムカードをついて来ます。通知書も15分単位で記載しています。15分単位?と疑問視されました

私の地域では決まった仕事しかなくて“お仕事紹介一覧”を頂いても交通費が出ない所までの仕事はできない
仕事の問い合わせすると、大変だからやめた方がいいと何回か言われて、やる気がなくなります、どうしたら、どんな仕事ならあるのですか
就業の条件が一方的に変更されようとしているが「誓約書」に明記されている「センターと会員の合意による決定に従い云々…」とはなっていない。即刻改善してもらいたい
事務所の接客がない。本当に仕事をしているのか？
事務局職員はもっとスピーディに各種の連絡をしてほしい
年に一度位は就労者と面談してもよいのでは 就労者は複数人でよいのでは
刈り払機操作の徹底をしてほしい。雑な作業の方が多い / 剪定の指導者がいない
現場を見てスキルアップ、誰も注意する人がいない
クレームが来るような仕事をしていることが多い / リーダーが良しとした仕上げに、苦情？を言わないお客が多いと思う
技の無い仕事をしてお金を受けている気がする / 40%位の仕様の仕事が多いと思う / 技術の向上が大切
悪しき風習(湯茶接待の強要)、高齢者であることの甘え、年下の方々に対する横柄な口ききや態度等の風評が広がっていることに驚いています。もっと明るくて公明正大なシルバーを前面に打ち出せるにはどうしたら良いか悩んでいます
一斉奉仕活動は毎年参加する会員が固定し、参加率を向上(30%以上)させるには、日曜日等に活動する必要があると思う
奉仕活動に仕事の関係で思う様に参加出来ず申し訳ないです
パソコン教室に参加し、勉強になった
LINE のやり方、HP の見方がわからない
仲間同士気持ち良く仕事ができるように。連絡を密にしてもらいたい。
ダラダラではなくテキパキとした行動が重要です。また、他人の話に良い悪いは別とし、耳を傾けることが大事なので、会員の長所・短所を理解しあえる風潮にしていけたらよいと思います
シルバーで働いていることを皆さん言いたがらない。職場に知っている人が来た時「みんなには黙っていて」という人がいる。私その一人ですが、シルバーで働かせていただき感謝しています。是非、シルバーのイメージアップをお願いします
会員名簿を作ってほしい。会員がだれか分からない
自ら考える習慣を付けよ